



株式会社 免疫生物研究所

JASDAQグロース 証券コード:4570

平成24年3月期 (第30期) 第2四半期 決算説明会

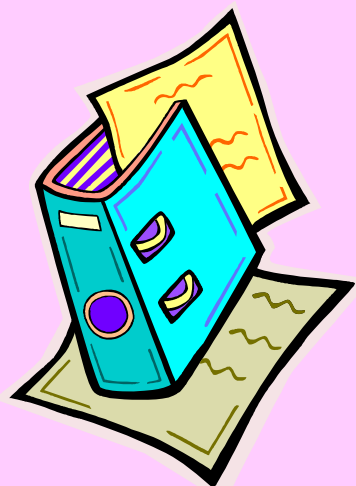
「抗体」を通じて、世界で難病に苦しむ人々が、
1日も早く、病気を克服し、明るく豊かな暮らしを営めるよう
社会に貢献いたします。



2011年(平成23年) 11月 24日(木)

決算概要・経営方針

平成24年3月期 (第30期)
第2四半期



1. 決算概要
2. 経営方針



平成24年3月期(第30期) 第2四半期決算実績

単位:百万円	H23年3月期 第2四半期 累計期間 (第29期)	H24年3月期 第2四半期 累計期間 (第30期)	前期比増減	主な要因
売上高	498	403	▲ 94 ▲ 19.1%	・研究用関連事業 増 ・タコニック製品取扱中止 ・医薬用関連事業 増
売上原価	254	166	▲ 88 ▲ 34.6%	・タコニック製品取扱中止 ・人員の合理化
売上総利益	243	236	▲ 6 ▲ 2.8%	・自社製品の販売割合 増 利益率大幅アップ【約10%】
販管費	362	284	▲ 77 ▲ 21.5 %	・人員の合理化、管理費削減 ・研究開発費(選択と集中) 減
営業利益	▲ 119	▲ 48	+ 71 -	計画通り
経常利益	▲ 114	▲ 47	+ 67 -	計画通り
純利益	▲ 121	▲ 57	+ 63 -	・特別損失計上



平成24年3月期(第30期) 第2四半期 事業別売上実績

(単位:百万円)	H23年3月期 (第29期) 第2四半期 累計期間	H24年3月期 (第30期) 第2四半期 累計期間
研究用関連事業	417	308
研究用試薬関連	275	293
抗体関連試薬販売	159	142
その他の試薬販売	36	53
試薬関連受託サービス	79	96
実験動物関連	142	14
疾患モデル動物販売	127	4
飼育・保管等サービス 他	14	10
医薬用関連事業	80	95
体外診断用医薬品販売 他	80	95
合計	498	403

貸借対照表の概要

(単位:百万円)	平成23年3月期末		平成24年3月期 第2四半期末		
		構成比		構成比	増減
流動資産	861	38.1 %	839	38.1 %	▲ 21
固定資産	1,400	61.9 %	1,361	61.9 %	▲ 38
資産合計	2,261	100.0 %	2,200	100.0 %	▲ 60
流動負債	124	5.5 %	137	6.3 %	12
固定負債	87	3.9 %	71	3.2 %	▲ 16
負債合計	212	9.4 %	209	9.5 %	▲ 3
純資産合計	2,048	90.6 %	1,991	90.5 %	▲ 56
負債純資産合計	2,261	100.0 %	2,200	100.0 %	▲ 60

キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)		平成24年3月期 第2四半期 累計期間	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上債権の回収 ・ 現金非支出費用(減価償却費)の税引前四半期損失同等額の計上 	
投資活動によるキャッシュ・フロー	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投資有価証券の償還 	
フリー・キャッシュ・フロー	41	—	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 借入金返済 15百万円 	
現金及び現金同等物の増減額	24	—	
現金及び現金同等物の 第2四半期残高	345	—	



平成24年3月期(第30期) 決算計画

単位:百万円	H24年3月期 (第2四半期 累計期間)実績	H24年3月期 (年間計画)	計画達成要因
売上高	403	910	【新製品発売】 上期実績 → キット4 下期予定 → キット、抗体など多数予定 【有力製品】 ・脳関連・・Amyloid β, APPキット ・代謝関連・・Klothoキット ・世界初の新製品 ・受託サービス、診断薬事業の堅調な伸長 【外部環境の追い風】 アカデミック関連予算の復活 上期 → 30%削減 下期 → 30%削減 撤回 【経費削減】 全部門において、効率化追求
売上原価	166	327	
売上総利益	236	582	
販管費	284	573	
営業利益	▲ 48	+ 10	
経常利益	▲ 47	+ 25	
当期純利益	▲ 57	+ 20	

決算概要・経営方針

平成24年3月期 (第30期)
第2四半期



1. 決算概要
2. 経営方針



開発分野
の集中化



研究用試薬新製品

1. 脳・中枢関連 (アルツハイマー病関連)

■ ELISA Kit

・ Human APL1 β 25 Assay Kit - IBL	2011年6月 販売開始
・ Human APL1 β 27 Assay Kit - IBL	
・ Human APL1 β 28 Assay Kit - IBL	
・ Human APP770 Assay Kit - IBL	2011年11月 販売開始

2. 脂質 糖代謝関連

- ・ 上期は開発を進め下期に新製品販売予定

3. 癌 炎症関連

■ ELISA Kit

・ Mouse N-ERC/Mesothelin Assay Kit - IBL	2011年9月 販売開始
・ Human ANGPTL2 Assay Kit - IBL	2011年10月 販売開始

■ 抗体

・ Anti-Human IDH1 R132H (HMab-1) MoAb	2011年11月 販売開始
・ Anti-Human IDH1 R132S (SMab-1) MoAb	
・ Anti-Human Intelectin-1 (3G9) MoAb	
・ Anti-GFAT1 (663) PoAb	
・ Anti-Human GFAT1 (S243 Phosphorylated) PoAb	

- アルツハイマー病関連製品を研究用試薬から診断薬へ
- 海外他社との共同開発 業務提携

1

短期

Amyloid Beta

■ 新しいAmyloid β ELISA Kit 診断薬

2

中期

Tau

■ 新しいTau ELISA Kit 診断薬

3

長期

Next Generation

■ 次世代のアルツハイマー病診断薬

メタボリックシンドローム治療支援と次世代の診断に向けた中期・長期的なラインアップ商品開発

内臓脂肪蓄積



ウエスト周囲径

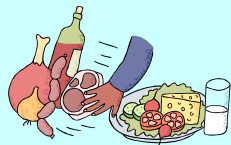
男性 85cm以上

女性 90cm以上

(内臓脂肪面積100平方cm以上に相当)

+

以下のうち2項目以上



1. 血清脂質異常

トリグリセリド値 150mg/dl以上

HDLコレステロール値 40mg/dL未満
のいずれか、又は両方

動脈硬化症

高脂質血症

心筋梗塞

脳梗塞

- ANGPTL 販売中
- Tenascin-C 販売中
- Apolipoprotein 開発中
- 各種Lipase 開発中



2. 血圧高値

最高(収縮期)血圧 130mmHg以上

最低(拡張期)血圧 85mmHg以上

のいずれか、又は両方

高血圧症

- Angiotensinogen 販売中
- レニン関連商品 開発中



3. 高血糖

空腹時血糖値110mg/dl以上

糖尿病

- GLP-1, GIP 販売中
- その他数品目 開発中

診断に直結できる商品開発

1. 膵がんマーカー

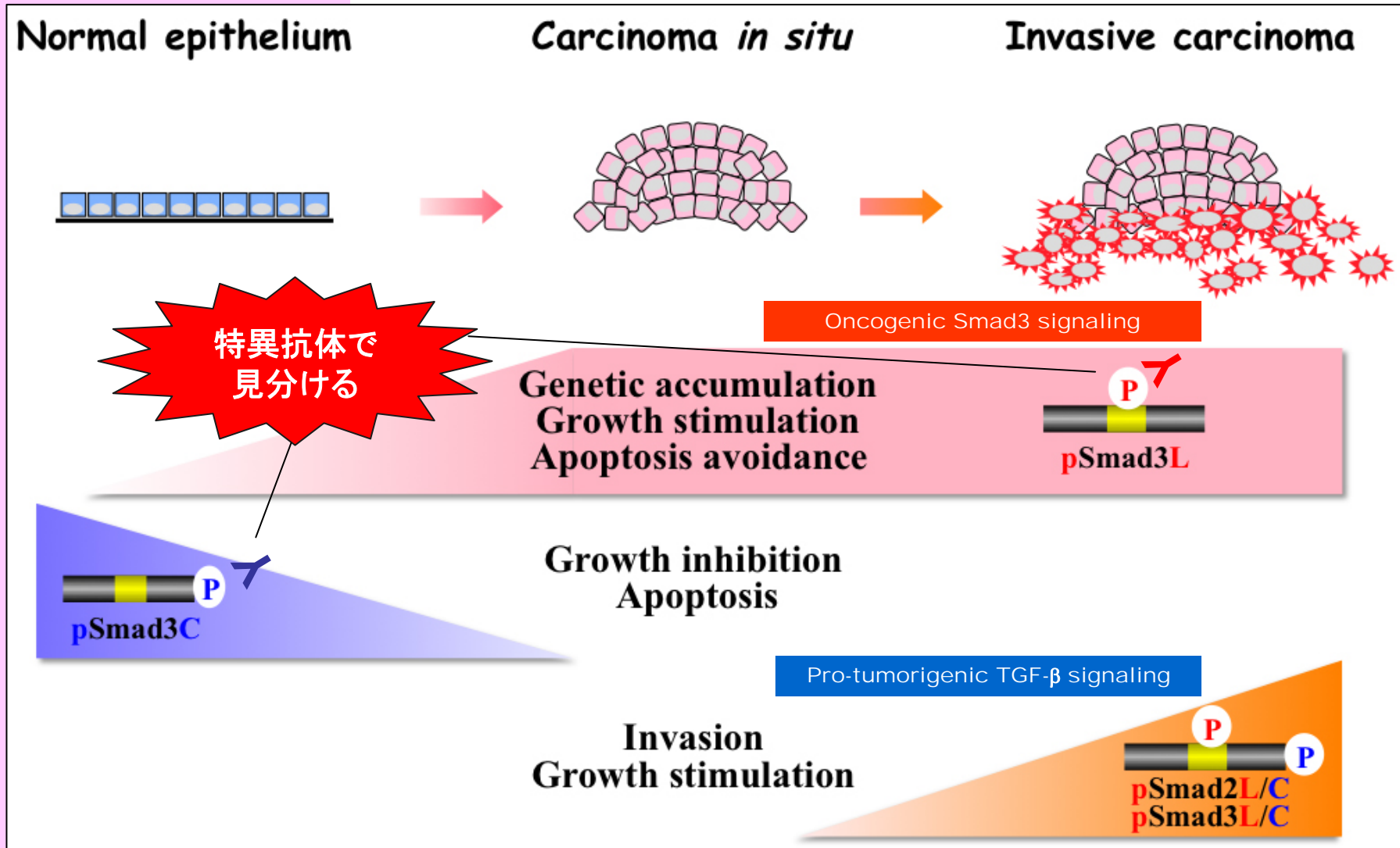
- 1) トランスジェニック社との共同開発
 - がん化に伴い出現する修飾タンパク質の特異抗体を利用した血中測定法の開発
- 2) 大学との共同研究
 - がん化に伴う糖タンパク質糖鎖測定法の開発

2. 中皮腫の早期診断薬開発に向けた研究型検診

- 順天堂大学との共同研究
- 5万人以上の規模で実施
- 臨床症状や臨床データと併せて解析中
(2011年11月26日東京にて開催の市民公開講座「次世代の環境発がんを考える会」にて解析結果の一部を発表)

3. 各種がん化の進展度を判定できるマーカー (pSmad3)

- 某大学と共同研究開発中 - 年度内に販売予定



トピックス4 ADAMTS5 TEST™ Kit

バイオ製剤の有効性予測が出来るコンパニオン試薬

- 関節リウマチ治療における生物学的製剤、抗TNF α 抗体製剤の有効性を推測する
- 測定法
 1. 検体採取 (EDTA-2Na採血, 5mL)
 2. 全RNA抽出後、市販のRTキットにてcDNA精製後、本試薬キットを用いたリアルタイムPVRにてADAMTS5のmRNA量を測定
- 判定
 - **ADAMTS5のmRNA量が低値**
 - キメラ型抗TNF α 抗体製剤、インフリキシマブへの有効性
 - **ADAMTS5のmRNA量が高値**
 - ヒト型抗TNF α 抗体製剤、アダリムマブ、ゴリムマブへの有効性

IBL



研究開発

トピックス - TGカイコ繭生産系による種々のタンパク質生産

IBLの新しいブランド- NeoSilk™, ネオシルク™

1. 化粧品原料 ヒトコラーゲン

- ✓ 化粧品業界注目のヒトコラーゲン配合化粧品原料の供給
- ✓ 今後の収益の柱の一つとして期待

2. 診断薬原料 抗体

- ✓ マウス腹水での製造からの切替えが検討
- ✓ 確実な収益源として有望

3. 研究用試薬 抗体

- ✓ 自社製品原料抗体のTGカイコ生産品への変換
- ✓ 安定、安価な製造によるコストダウン

4. 治療薬原料 タンパク質

- ✓ 動物用治療薬原料他社と共同開発中
- ✓ フィブリノゲン→止血剤として導出活動中

TGカイコ関連特許状況

状況	特許関連番号	内容	状況
特許成立	第4132760号	カイコ卵へのポリヌクレオチドの効率的導入方法	実施権許諾
特許成立	第4271122号	カイコでの組換えタンパク質製造のためのポリヌクレオチド	専用実施権許諾
審査中	WO2006/041225	カイコでの組換えタンパク質製造のためのポリヌクレオチド	欧成立 米、中国、係属中
審査中	特開2008-67612	機能的な抗体分子を生産するトランスジェニックカイコ	係属中
審査中	特開2008-125366	トランスジェニックカイコの絹糸腺で組換えタンパク質を発現させるための融合ポリヌクレオチド	係属中
審査中	特開2009-225781 WO2009/150858 US2011-0202009	カイコを用いた糖鎖構造に特徴を有する糖蛋白質の製造方法	係属中

その他4つのTGカイコ関連特許を出願済み

新たな収益源となる 治療用医薬品パイプラインについて

【アルツハイマー病関連抗体】

- アミロイドβタンパク質に対する抗体、コード名「82E1」について、米国Intellect Neurosciences, Inc.とアルツハイマー型認知症治療薬としての独占的開発、製造および販売権を譲渡する契約を締結。開発の進捗に応じて契約金、製品発売後には一定率のロイヤリティーを受領する予定。
- また、新しい中和機能を有するアミロイドβタンパク質に対する抗体を大学および専門研究機関と共同開発中。

【関節炎・自己免疫疾患関連抗体】

- 関節炎・自己免疫疾患に関与する新規タンパク質を発見(特許出願済み)。当該タンパク質及び関連因子に対する抗体を開発中。

中期経営計画の進捗

	平成21年 3月期 実績	平成22年 3月期 実績	平成23年 3月期 実績	平成24年 3月期 計画【今期】	平成25年 3月期 計画	平成26年 3月期 計画
売上高	1,036	1,059	1,059	910	1,025	1,200
(研究用試薬関連)	(563)	(537)	(624)	(746)	(910)	(1,035)
(実験動物関連)	(359)	(369)	(261)	-	-	-
(医薬用関連・他)	(113)	(152)	(173)	(164)	(115)	(165)
売上原価	576	557	488	327	325	360
販管費	842	686	635	573	550	600
営業利益	△382	△185	△64	10	150	240
			<ul style="list-style-type: none"> ・タコニック社との契約9/末終了 ・自社製品の販売増 ・人件費、コスト低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・自社製品の販売増で粗利益率の向上→◎ ・他社との業務提携の推進→△ ・人件費、コスト低減→◎ 	<ul style="list-style-type: none"> ・カイク事業を含む自社開発製品の売上増→化粧品原料本格参入 ・カイク事業による製造費低減→計画通り進行中 ・他社との業務提携により国内外の販売網の拡大→現在模索中 ・抗体医薬ライセンスの導出を目指す→早期導出を目指し開発中 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・営業C/F黒字化 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業利益黒字化を目指す→◎ 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の配当を目指す 	



注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社経営陣が現時点において入手可能な情報によって判断したものであり、不確実である情報から得られた多くの仮定や考えによって作成されております。実際の成果は、さまざまな要素によって変化するため、業績見通し、開発見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。

実際の業績に影響を与える要素には、国内および国際的な経済情勢、業界ならびに市場の状況、金利および通貨為替の変動、新製品上市の遅延、導出先企業における開発の進捗の遅れ、技術的進歩、競合他社による特許の獲得、国内外の政府による法規制の変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。